

①ガラシャ城跡（女城跡）

本能寺の変のち、山深い味土野で1年8カ月余りの隠棲生活を送ったと伝わる屋敷跡。昭和11年「細川忠興夫人隠棲地碑」が建立された。

②ガラシャのあずま屋（休憩所）

令和元年に宮津高校生が製作し設置された、訪れる旅人の心休まる休憩所。

③ガラシャの古井戸

ガラシャが使っていたと伝わる井戸。昭和2年の丹後大震災で枯渇。

④ガラシャの化粧水場

近くにガラシャが化粧をする時に使用していたと地元で伝承の残る「化粧池」の近くを水源とする超軟水が原水。

⑤味土野ガラシャ大滝

駐車場を150mほど下り、40m階段を降りた展望所からは、落差約40mの瀑布がむかえてくれる。

⑥味土野ガラシャの里駐車場

味土野ガラシャ大滝や周辺の散策に便利。

⑦男城跡

ガラシャを警護する武士がいたと伝わる城跡。道は整備されていない。

⑧金剛童子山

地元では行者山とも言われ、修行のための「のぞき岩」もある。西側に双眼鏡やデッキのある展望所がある。（登山道より徒歩約1時間で頂上。そこから展望所・作業道・市道を経由する周遊は、休憩を入れて全行程約3時間）

⑨大岩

この岩陰でガラシャが次男「興秋」を出産したと、地元で言い伝えが残る。

⑩ガラシャ荘（令和6年7月焼失）

有料でトイレや休憩が可能。（焼失のため使用中）

⑪味土野のガラシャ古道（上級者向け）

現在の府道655号線が出来る前の尾根伝いの古道。男城跡を通り味土野に入る。道の整備はされていない。

⑫洞養寺

金剛童子山を開山したと伝わる役小角が祀られている。

⑬溝谷神社

織田信長が社殿を再興し、家臣の明智光秀が寄進したと言い伝えのある石灯籠が今でも境内に佇んでいる。

⑭内山ブナ林

内山周辺には府内最大級のブナ林があり、五十河へは歩いて行ける。

野間基幹集落センター（P・WC有り）から
味土野へ行くコース紹介 ※味土野へは約5km

車で

味土野までは離合困難な狭い府道が続くが、路辺の待避箇所は何箇所か有る。

徒歩で

時間のある方は、上り約1時間半、下り約1時間。自然を愛でながらの散策は魅力的。

味土野のガラシャ古道（尾根道）を通して

途中の小杉分れまで車で行き、そこから山道を徒歩で男城跡経由（約1.5km、約50分）で味土野へ入れる。（三差路の橋上や路辺に駐車可）帰りは味土野のガラシャ大滝や大岩のある府道（655号線）を下る。道は整備はされていないので今はおススメしません。

細川ガラシャの幽閉ルートを考察

2 なぜ味土野に幽閉されたのか？ （安心・安全なのか？食料は？）

1. 細川家の重鎮 前野家が、味土野への入り口である世屋を治めていた。
2. 家訓として、細川家は情報源を重んじ、特に混乱の世の戦国時代には、貴重な情報をもたらす全国の山伏たちに様々な援助をしていた。宮津より北にある味土野は、修験道の行場として栄えた金剛童子山の登山口にあり、信頼できる山伏たちが行き来する途中に位置し、彼等の目の届きやすい味土野にガラシャの棲む屋敷があるなら、細川家としては安心であった。
3. 味土野は作物に適した豊かな村。当時は30数戸だったと伝わる。隠棲のガラシャ夫人達の食料の確保では、幽閉ルートにある松尾集落の名家には「晩秋に新米を収穫すると、寒い中ぬかるんだ道を木子峠から味土野へ運ぶ村役は大変だった」と、彼ら達を世話した言い伝えが残っている。

4 では、幽閉が解けて宮津城へ 帰る際、細川ガラシャの帰途の ルートはどこを通ったんだろう？

来た道を帰ったのだろうか？イヤイヤ2年余りの隠棲期間で、反細川勢力の上世屋の治安も落ち着いたので、村中の銚子の滝や展望の良い場所から天橋立や忠興や幼子のいる宮津城を眺め、急いで世屋を降りて行ったのか？はたまた、味土野から陸路ルートで宮津城を目指す、内山のブナ林を見て小野小町の里を経由し、弓木城付近を通して、天橋立の阿蘇海沿いに帰ったのだろうか？

などと推測するのも、
歴史の楽しみです！

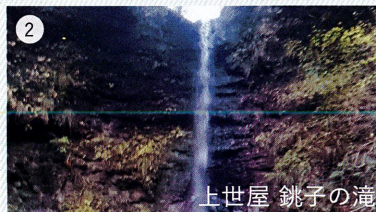
玉を味土野に隠せ！

1 天正十年（1582年6月2日未明） 「本能寺の変」の報せを受けた後 細川親子（藤孝・忠興）

宮津～味土野までの景色



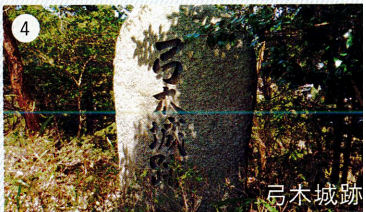
味土野 女城跡



上世屋 銚子の滝



松尾の一本桜



弓木城跡



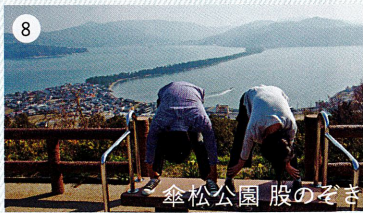
宮津城城門跡



カトリック宮津教会



ガラシャ像



傘松公園 股のぞき

3 味土野までの細川ガラシャの 幽閉ルート（味土野へ行った道）

有力なのは海路説（あくまでも個人の推測ですが）。宮津城～日置の寺泊は当時の船で松並木の外洋を通っていくと、約4海里（7.4キロ）。それを約3ノットで漕いで行ったと仮定すると、所要時間は約1時間20分。（数値は海洋高校に聞き取り）船から降りてその後は少し遠回りになるが下世屋～松尾～東野～木子の大ヶ温泉～小杉～味土野までの約15キロを歩いて味土野へ。なぜ？そのルートかと言えば！

1. 船から降りて、味土野までの近道の上世屋には、まだ反細川勢力が残っていた。
2. 宮津から味土野まで陸路ルートで行く場合は、細川藤孝の息女「菊姫」を敵対する一色家に嫁がせていたとは言え、居城の弓木城付近を通らなければならなかった。これでは、ガラシャを危険にさらしめる。

細川ガラシャの里・野間と周辺の
見どころ・食べどころマップ

